

# 課題発見ゼミナール

葭森担当分

# 授業の概要

- 1) 課題を発見する。→感性を働かせ、課題を見つける。  
同じものを見ても「?!」は人によって異なる。  
徳島のマチ歩きによって「ナニ・コレ?!」を見つける
- 2) 感じたことの客観化。→他人に説明することで、感性を客観化する。  
「ナニ・コレ」を人に説明することで、自分の「ナニ・コレ」を客観化する。  
他人の意見を聞くことで、課題解決のため問題点を確認する。
- 3) 課題解決のための資料集め→資料を使って問題点をクリアーする。  
「ナニ・コレ」についての答えを探す。  
その第一歩として、観察、聞き取り、文献により、証拠を収集。
- 4) 共同作業で報告書を作成する。

# 一、課題を発見する

身近なところで課題を見つける。

今年は徳大常三島キャンパス周辺を指定

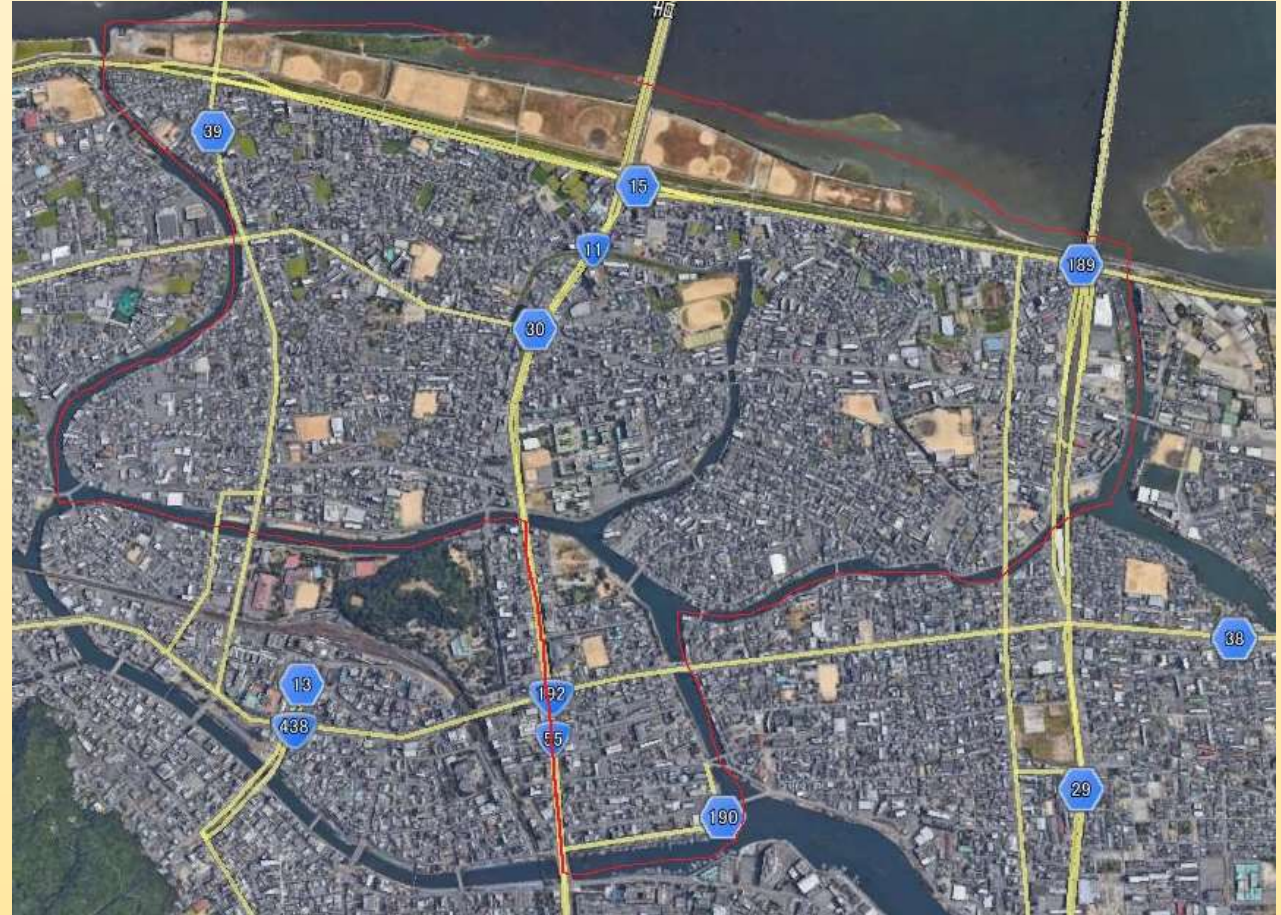
自転車か歩きで徳島のマチを見てまわる。

驚いた！こと「ナニ」、不思議？なこと「コレ」を発見。

写真に撮り、ゼミのメンバーに紹介する。

なぜ、驚き、不思議に思ったのかを説明。

意見を聞き、自分の課題を確認する。



図はGoogle Earthをもとに作成

## 二、調べる

- ①資料を調べ中間報告→感性ではなく、客観的証拠による説明  
「ナニ・コレ」について、資料を踏まえた分析の中間報告。  
他人に聞いてもらい、質問を受けることで足りないところを確認。
- ②全員で実地調査→全員で現地に赴き、担当者が解説。意見を出し合い、残された課題を探す。
- ③指摘された問題点について、再検討する。併せて不足していた資料を補い、課題の解決に近づく。その際他人を説得するためには、どの様な証拠がいるのかを考え、補う。
- ④「ナニ・コレ」から出発、調査により、課題に対する自分の結論を得る。

# 三、まとめる

- ① 発見した徳島の特徴を皆で考える。各自が見つけ調べた「ナニ・コレ」分類し、検討するグループを作る。
- ② グループ毎にメンバーでの意見交換と検討を通して、徳島のマチの特徴、魅力、問題点を整理し、グループ毎に報告書の一章分を担当する。
- ③ グループによる発表する。その際に 1)結論を他人にわかりやすく説明する。2)どうしたら、結論を他人に有効的に説明できるか考え、適切な資料(写真、文献等)を利用する。
- ④ 最終報告書の作成。各グループの内容をどうつなぎ合わせるのか、相互に意見を交換しながら、最初に感性で見つけた課題を客観的証拠を踏まえ検討、全員で協力して一つの成果を作る。
- ⑤ 感性から実証作業で課題の解決の方法を、報告書の作成を通じてチームワークの大切さを学ぶ



2016 年度課題発見ゼミナール

## 徳島の風景を探る



## 目次

はじめに	1
第一章 徳島中央公園について	2
田中美紀 藤本恵里那 仲野翠	
第二章 新町川周辺から考える徳島の移り変わり	7
徳山あすか 澤野大夢 角瑞穂	
第三章 徳島にあるモニュメント	9
藤森くるみ 片 拓人 佐山綾香	
第四章 モニュメントからみる信仰と徳島の県民性	12
原田有理・藤原茉由・日笠祥子	
第五章 眉山周辺の風景の数々	15
山本始乃 山本健太 久保さとし 藤田周吾	
終わりに	21